

第35回企画専門調査会(平成22年9月28日)資料
 「(平成22年度)食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について」抜粋

物質名(危害要因)	主要な物質(危害要因)に関する概要	国内外における状況等
ナリンジン、ククルビタシン、イソチオシアネート分解物などの苦味成分	野菜、果実中に含まれる天然の成分である ナリンジン：グレープフルーツなど柑橘類等に含まれる苦味成分 ククルビタシン：ゴーヤーなどウリ科野菜等に含まれる苦み成分 イソチオシアネート：わさび、大根などアブラナ科野菜等に含まれる苦み成分 危害情報は把握していない。	〈国内〉 ・食品安全委員会による評価状況：なし ・ナリンジンに関する毒性情報及び健康被害情報は、現時点では、見つからない。逆に抗変異原活性を示すとする論文あり 〈国外〉 ・毒性情報及び健康被害情報は、現時点では、見あたらない。